

俳句

たか はし きん そう
高橋金窗



岩国市・柳井市
(1902～1987)

和歌山県出身。少年時代より、兄の影響で句作を始め、『同人』主宰の青木月斗に師事。大分大学卒業後は、高校教師を歴任。昭和二十一年岩国商業学校に赴任後、「岩国同人句会」を設立、県下各地の句会の指導者として、多数の門人を育て、山口県俳句作家協会会長を長年務め、県俳壇の振興に貢献して岩国市文化功労賞、山口県文化功労賞などを受賞した。子規の流れをくむ、写生を基本とする作風を重んじ、温厚で謙虚な人柄で多くの人々に慕われた。

(中澤辰江)

【主な著作】

句集『五軒谷』(岩国同人会、昭和45年)

句集『土穂石』(同人社、昭和58年)